

30. 熊本大学政策創造研究教育センター改善計画書

領域	改善計画 (H27. 3. 31現在)	改善状況① (H27. 12. 1現在)	改善状況② (H28. 12. 1現在)
研究	(法人評価までに改善する計画) 政策創造研究部門と生涯学習教育部門が協働で推進する事業を計画する。	「Flat Café事業」として、地域課題についてさまざまな立場の人が対話を行う、カフェ形式の参加型講演会を、部門共同事業として企画し、実施している。	平成27年度に「Flat Café事業」として、地域課題についてさまざまな立場の人が対話を行う、カフェ形式の参加型講演会を、部門共同事業として企画し、実施した。平成28年度は「Flat Café事業」は、地震の影響で休止中であるが、熊本地震の復興支援活動を部門共同で機動的に計画・実施している。
	(2年間で改善する計画) 学術的に優れた研究成果につながる研究活動に取り組む。	学術的に優れた研究成果につながる研究活動を関係部局の教員・学生とも連携しながら取り組んでいる。	学術的に優れた研究成果につながる研究活動を関係部局の教員・学生とも連携しながら取り組んでいる。
	(次の組織評価までに改善する計画) 政策創造研究部門と生涯学習教育部門が協働で推進する事業を1件以上実施する。学術的に優れた研究成果につながる研究活動に取り組み、その成果を1件以上挙げる。	部門協働事業として、「Flat Café事業」が1件相当する。学術的に優れた成果につながるような活動を関係部局の教員・学生とも連携しながら進めている。	昨年度実施した「Flat Café事業」が1件相当する。学術的に優れた成果につながるような活動を関係部局の教員・学生とも連携しながら進めている。
社会貢献	(法人評価までに改善する計画) 他機関と差別化した生涯学習事業を計画し、全学の生涯学習事業の認知と協力体制の強化を計画する。	他機関にはない取り組みとして、「Flat Café事業」を平成27年度後半から毎月開催している。また、動画コンテンツを用いた専門職業人向けのe-ラーニング型生涯学習事業を準備している。	他機関にはない取り組みとして、「Flat Café事業」を平成27年度に実施した。また、動画コンテンツを用いた専門職業人向けのe-ラーニング型生涯学習事業を準備している。平成28年度に熊本地震の被災地益城町において他部局と連携して実施している「ましきラボ」における勉強会等のイベントが他機関と差別化した生涯学習事業の展開例といえる。
	(2年間で改善する計画) 政策創造研究部門と生涯学習教員部門のシナジー効果を活かした事業を1件以上計画する。	「Flat Café事業」がシナジー効果を活かした事業であり、それを企画・実行している。	平成27年度に企画・実行した「Flat Café事業」がシナジー効果を活かした事業である。平成28年度は、熊本地震の被災地益城町において他部局と連携して実施している「ましきラボ」における勉強会等のイベントが部門間、他部局とのシナジー効果を活かした事業の展開例といえる。
	(次の組織評価までに改善する計画) 全学の生涯学習事業の認知を向上させ、他機関と差別化した生涯学習事業を2件以上増加させる。政策創造研究部門と生涯学習教員部門のシナジー効果を活かした事業を1件以上実施する。	他機関と差別化した事業として、動画コンテンツ事業の計画と、「Flat Café事業」の2件が相当する。シナジー効果事業である「Flat Café事業」を平成27年度後半から毎月開催している。	他機関と差別化した事業として、動画コンテンツ事業の計画と、「Flat Café事業」の2件が相当する。シナジー効果事業である「Flat Café事業」を平成27年度に実施した。平成28年度は、熊本地震の被災地益城町において他部局と連携して実施している「ましきラボ」における勉強会等のイベントが他機関と差別化した生涯学習事業の展開例といえる。
国際化	(法人評価までに改善する計画) センター独自の国際化の計画・方針を定め、それを広く公開する。	センター独自の国際化の基本方針・計画を定め、センターWeb上で公開した。	センター独自の国際化の基本方針・計画をセンターWeb上で公開中である。
その他 (男女共同参画)	(法人評価までに改善する計画) 本学育児・介護支援制度の周知と利用を推進する。	センター会議で周知と利用の促進を促した。	継続的にセンター会議で周知と利用の促進を促している。